

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	図面情報管理システム事業			事業コード	1253
担当課等	所属名	上下水道局 水道管路課	担当係名		
	課長名	上下水道局 水道管路課	担当者名	泡淵 貴史	電話番号 6276

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード	7	施策	いつでも信頼される上水道事業の推進	コード	5
	基本事業	安定給水の確保	コード	1	関連予算費目名	水道事業会計 1款01項20目 図面情報管理システム事業(016-10) 水道事業会計 1款01項20目 図面情報管理システム事業(018-10)		
	特記事項							
事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度							
事務事業の概要	水道施設に関する情報を的確に把握し、常に実態と一致した状態で情報管理を行い、施設整備・拡張事業計画、有収率・有効率の向上に向けた長期的漏水防止計画の策定、突発的な事故・地震等災害の異常時における応急復旧への迅速な対応など、情報の有効活用と維持管理事業の効率化を目指す							
根拠法令等	水道法第5条及び第7条							
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)								
水道施設における維持管理の効率化を図るため、地形や管路等の情報を「水道施設管理図」としてデータベース構築し、平成12年度に管理用システムとして導入し、運用を開始した。								
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか								
①災害・突発事故の際、迅速且つ正確な現場対応を行うため、野外用PCなどの携帯ツールを利用したマッピングシステムを導入すべきである。 ②非常用電源を利用するなど、庁舎停電時における活用に向けた事業展開を図るべきである。 ③窓口にマッピングシステムを設置し、可能な限り最新の情報を提供すべきである。								
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどのように変化したか。今後の見通しはどうか								
市内全域の水道施設管理図(戸番図)整備とマッピングシステムで運用するデータベースの構築を実施する事業として取り組んだものであり、平成12年度にシステムを導入し運用を開始、平成15年度には盛岡市全域のデータベース構築を完了した。その後、平成17年度に合併した玉山区のデータベースを平成20年度に構築した。今後は情報精度の向上に努め、システムを効率的に運用して維持管理の適正化と効率化を図る。								

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・水道施設管理図 ・設計システムへの図面データ提供 ・地下埋設物調査におけるシステム利用 	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 水道施設管理図の整備計画量(データ更新) 単位 面 B. 設計システムへの図面データ提供回数 単位 回 C. 地下埋設物調査におけるシステム利用件数 単位 件
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) <ul style="list-style-type: none"> ・図面情報データ経年更新 ・設計システムへの図面データ提供 ・地下埋設物調査におけるシステム利用 23年度計画(23年度に計画している主な活動) <ul style="list-style-type: none"> ・図面情報データ経年更新 ・設計システムへの図面データ提供 ・地下埋設物調査におけるシステム利用 	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 水道施設管理図の整備量(データ更新) 単位 面 B. 設計システムへの図面データ提供回数 単位 回 C. 地下埋設物調査におけるシステム利用件数 単位 件
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・水道施設に関する図面を整備し、施設に関する情報を的確に把握する。 ・設計システムへデータを提供することにより設計業務の効率化を図る。 ・地下埋設物調査における窓口業務にてシステムを利用することにより業務の効率化を図る。 	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 図面整備率 図面整備量/図面整備計画量=図面整備率(%) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 単位 % B. 図面データ提供数/図面データ利用申込数=図面データ提供率(%) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 単位 % C. システム利用数/地下埋設物調査件数=システム利用率(%) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 単位 %
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	安全でおいしい水が安定供給される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	有効率(単位:%) 耐震化率(単位:%) 残留塩素(単位:mg/l)

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	水道施設管理図の整備計画量(データ更新)	面	1828	1828	1828	1828	1828	1828	年度
対象 指標B	設計システムへの図面データ提供回数	回	110	120	120	120	120	120	年度
対象 指標C	地下埋設物調査におけるシステム利用件数	件	1200	1200	1200	1300	1300	1300	年度
活動 指標A	水道施設管理図の整備量(データ更新)	面	1828	1828	1828	1828	1828	1828	年度
活動 指標B	設計システムへの図面データ提供回数	回	120	120	120	120	120	120	年度
活動 指標C	地下埋設物調査におけるシステム利用件数	件	1200	1200	1200	1300	1300	1300	年度
成果 指標A	図面整備率 図面整備量/図面整備計画量=図面整備率(%)	%	-	-	-	-	-	-	年度
成果 指標B	図面データ提供数/図面データ利用申込数=図面データ提供率(%)	%	100	100	100	100	100	100	年度
成果 指標C	システム利用数/地下埋設物調査件数=システム利用率(%)	%	100	100	100	100	100	100	年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	15,998	14,265	14,570	12,846	10,684	10,254	****
財源 内訳	④国	千円							****
	⑤県	千円							****
	⑥地方債	千円							****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	****
	⑧その他	千円	15,998	14,265	14,570	12,846	10,684	10,254	****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	15,998	14,265	14,570	12,846	10,684	10,254	****
	延べ業務時間数	時間	700	750	750	800	800	800	****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,800	3,000	3,000	3,200	3,200	3,200	****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	18,798	17,265	17,570	16,046	13,884	13,454	****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 水道施設に関する情報を的確に把握できるため、意図は達成されている。このデータベースをマッピングシステムで管理・運用することによって、図面検索に要する時間の短縮や突発事故等の緊急時における迅速な対応が可能となり、維持管理業務の効率化が図られる。また、他システムにデータ提供を行うことにより業務の効率化が図られる。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: データベース更新の回数増及びPCなどの検索用ツールの増台により、効果の向上が見込める。また、非常用電源を確保することにより、停電時における活用が可能となる。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 水道施設に関する情報を迅速且つ的確に把握することが極めて困難となり、突発事故等に求められる迅速な対応が不可能となる。また、他システムでのデータの有効活用が出来なくなる。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 盛岡市総合型GIS整備事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 平成18年度に総合型GISシステムと連携可能なシステムを構築したことにより、地形データの共有化により経費の節減が期待できる。また、GISシステムへの水道施設データの提供が可能となり、他部署においても業務の効率化が図られることとなった。
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 水道施設の情報を常に実態にあった状態に保つためにはデータベースの修正作業が重要不可欠であるが、その作業を可能な限り直営作業によって実施するとともに、構築したシステムを利用して総合型GISシステムの地形データを共有することにより委託経費の節減が可能となった。しかし、全ての修正作業を直営で実施することは人員や時間的制約から不可能であり、少なくとも地形図修正等必要最小限の外部委託費用は必要である。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 水道施設の情報を常に実態にあった状態に保つためにはデータベースの修正作業が重要不可欠であるが、この作業を速やかに直営で実施することによって、情報精度の確保と最新情報の提供が可能となる。現状においては、速やかな修正作業が可能で外部委託先が見当たらないことから人員削減の余地は無いと判断される。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 水道施設に関する情報を的確に把握するための図面整備は、上下水道事業者が行うべき事業である。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？		

- 適正化余地がある
- 公平・公正である
- 特定の受益者はいない

⇒ 4. 事務事業の改革案へ

理由: 水道施設に関する情報を的確に把握するための図面整備は上下水道事業者が行うべき事業であるため、事業費負担は適正である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 水道事業に関する計画、工事、維持、管理などあらゆる分野での基礎資料に係る事業であるため、本事業は継続していくとともに、より効率的な事業展開を検討していくべきである。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 事業の効率化に向け、様々な角度からの検討が必要であるが、市長部局関係部署との連携を図り、場合によっては他都市の事例を参考にすることでシステムの向上を目指す。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	○ 妥当	● 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>平成15年度に盛岡市全域のデータベース構築を完了し、更に同17年度に合併した玉山区のデータベース構築についても平成21年度にはほとんど完了した。今後は、改善項目を中心にできることから積み上げをして毎年度ごとのデータ更新作業に取り組んでいくことが必要である。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
	<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>平成20年度で玉山区を含め盛岡市の基礎的な情報入力完了しており、今後はこれらの情報をいかに、断水機能の充実や設計積算・管網解析機能など、拡張的機能の有効性・効率性を高める事により施設維持管理の向上を図っていきたい。そのために水道施設に関する最新の情報を的確に把握することにより、突発事故等の緊急時に迅速な対応が可能となるため、常に実態に合った状態に保つためのデータベースの更新が必要である。</p>													